



地域に学ぶ

校長 前田 倍成

- 学校教育を学校内に閉じず，その目指すところを家庭や地域社会と共有・連携する
- 地域の人的・物的な教育資源に学び，社会教育との連携を図る

これは，学習指導要領に示されている「社会に開かれた教育課程」実現のポイントです。これからの時代に求められる資質・能力を育む教育活動の展開には大切な視点です。

しかしながら，この点においては，昨年度来，新型コロナウイルス感染の拡大によって，地域のみなさんと直接ふれあい，学ぶことがままならず忸怩たる思いをしてきました。

そして現在，このところの感染状況の落ち着きもあり，学校としてしっかり感染対策を講じ，そして何より地域のみなさんの温かいご理解とご協力をいただきながら，子どもたちの方から学校を飛び出して「地域に学ぶ」学習活動を少しずつ再開しています。

【3年生社会科：小单元『お店ではたらく人』の学習】

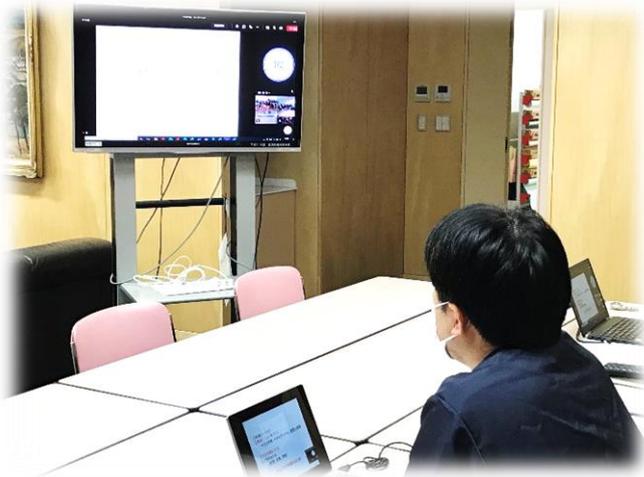


バックヤードを見学



売り場の工夫を探る

【学校保健委員会の開催】



6年生教室と校医の先生のリモート講話

【6年生のふりかえり】

- 今日の話を知らない家族や地域の人にも教えてあげて、みんなが健康にすごせる志賀町にしたいと思いました。できることは少しでもやってみようと思いました。
- 免疫力を高めるために「食事の栄養」、「適度な睡眠」、「適度な運動」に気をつけて生活できるように頑張ります。これから手洗いをするときは「ハッピーバースディ」の歌を頭で歌いながらこまめにするよう心がけたいです。
- 病気にかからない体づくりを目指していたいなと思いました。これを守って、自分や周りの人の命を守りたいと思いました。

【老人会とペタンクで異世代間交流】



「何点はいつているのかな？」

【福祉体験活動の実施】



田鶴浜高校の先生を招いて

これまで、クラブ活動などでの生け花指導や、ペタンクを通じた老人会の方々との異世代間交流、ノリクトリオのみなさんをお招きしたり、田鶴浜高校の先生方から福祉体験活動を指導していただいたりと、地域や外部機関から学校に入る形ではできる限り実施してきましたが、大勢の子どもたちが地域に出て学ぶ形ではなかなかできませんでした。

上述の3年生や4年生の校外学習も昨年度は諦めざるを得なかった「地域に学ぶ」活動です。その学習活動でうかがえた、子どもたちの好奇心にあふれ、意欲に満ちた表情は、本当に何物にも代えがたいものでした。

—— 受賞おめでとうございます！ ——

【第46回 JA「ごはん・お米とわたし」作文コンクール】

石川県農業協同組合中央会賞 入賞 6年 吉野 蓮之介「元気の源」
入選 6年 山澤 有結「おうちごはんのおいしいひみつ」

—— 保護者のみなさまへ ——

【赤い羽根共同募金について】

今年も、児童委員会（企画，ボランティア）が活動を始めました。募金期間は8日（月）～12日（金）です。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。